



どうなんだより

平成25年度早春号

有限会社 山下農産

～農地の受け手として地域農業を支える大規模1戸法人～

地域を担う

農業生産法人の横顔



所在地：上ノ国町

代表者：山下敏雄

構成員：5名(他に事務職員1名)

雇用：パート4名

設立：平成16年3月

事業内容：水稲・畑作及び農作業受託

水稲、畑作の栽培面積拡大に伴い、個人経営での対応に限界を感じてきたことと、高齢化が進む町内で農地の受け皿を担う必要性を感じ、農業生産法人を立ち上げた。現在、水稲・畑作生産(H25経営面積約98ha)と農作業受託を行い、地域農業を強力に支えている。

法人経営のメリット

経営的には、雇用面以外でそれほど大きなメリットを感じているわけではない。しかし、地域に自分のような経営が存在する意味はあると思うので、地域のメリットが自分のメリットにも通じると考えている。

法人運営のポイント

きちんと法人経営を成立させることが何より大切。厳しい気象条件に負けず、いいものをしっかり穫っていく栽培管理が重要。

これから法人化を目指す農業者へ一言

1戸法人でも協業法人でも、その地域における役割ということも意識してほしい。この町でも、自分のような経営が今後出てきて欲しいし、幸い元気な若い力が育っているので、大いに期待している。

道南地区農業法人セミナーが開催されました

トピックス

1月29日、北斗市で道南地区農業法人セミナーが開催されました。渡島・檜山の農業者を中心に参加があり、関係機関を含め125名の参加がありました。

講演は、岩見沢市の有限会社毛陽農産 東井氏、北海道農業会議 佐藤氏より実体験や実例を交えてお話されました。

参加者から複数戸法人や協業法人の質問も出て、道南地区であらためて農業法人について考える有意義な機会となりました。



熱心に聞き入る参加者

集落営農や農業生産法人に関するお問い合わせは、最寄りの普及センターまで。

編集事務局(渡島農業改良普及センター)

電話番号 0138-77-8242